

【問】 2003 年 明治大学 法一部

次の文中の空欄に、あとの語群からもっとも適当と思われる語を選び、その記号を答えなさい。

蒙古の襲来が失敗したあとも、幕府は警戒態勢をゆるめることができず、九州地方の御家人を引き続き異国警固番役に動員した。幕府では、北条氏の地位がさらに強化されるとともに、得宗の家来の御内人と本来の御家人との対立が激化した。こうしたなかで北条時宗の子 1 の代になると、1285 年(弘安 8)に有力御家人の安達泰盛の反乱がおき、北条氏の専制に不満をもつ幅広い御家人層がこれに加わったが、御内人を代表する 2 平頼綱に滅ぼされた。ここに北条氏の覇権が確立し、得宗の絶対的な威勢の下で、2 が幕政を主導するようになった。1293 年(永仁 1)には 3 が置かれ、北条氏一族が送りこまれて九州を管轄するようになった。

元寇は御家人たちに多くの犠牲をはらわせたが、幕府は、没収地のない防衛戦では十分な恩賞を用意することができず、御家人たちの信用を失うこととなった。また、鎌倉時代になっても依然として分割相続を繰り返していた御家人たちは、所領の細分化を避けることができず、各地で相続をめぐって一族内部の争いが深刻化したうえ、貨幣経済の発展に巻き込まれて窮乏していった。幕府は、窮乏する御家人を救うために 1297 年に永仁の 4 を発布し、①御家人所領の売買や質入れを禁止すること、②御家人の間で売買された所領で売却後 5 年を超えない土地については、無償でもとの持主にとりもどさせ、また非御家人や庶民に売却した所領については、年限に関係なく無償でもとの持主にとりもどさせること、③幕府は御家人が関係する金銭の訴訟をいっさい受けつけないことなどの思い切った手段に訴えた。これによって、御家人は一時的には救われたが、かえって金融の道が閉ざされて困窮を早めることとなり、幕府の意図は必ずしも成功しなかった。

〔語 群〕

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| A 10 | B 関東管領 | C 北条実時 | D 分地制限令 |
| E 鎮守府 | F 徳政令 | G 15 | H 内管領 |
| I 20 | J 管 領 | K 鎮西探題 | L 北条重時 |
| M 長門探題 | N 北条貞時 | O 半済令 | P 25 |

【解答】 ★★★★★ ふつうです

1 N 2 H 3 K 4 F 5 I